

第1編

国内政治

第1章 石破政権から高市政権へ

1 参議院通常選挙 自公過半数割れの敗北

2025年（令和7年）7月21日、第27回参議院通常選挙が実施された。

選挙の結果、与党である自民・公明両党は計47議席にとどまる大敗となり、非改選を合わせて参議院全体の過半数（125議席）に届かなかった。これにより、自民・公明両党は、衆議院に続き参議院においても少数与党となり、厳しい政権運営を強いられることとなった。

2 石破首相退陣表明・総裁選へ

2025年（令和7年）9月7日、石破茂首相は首相官邸で記者会見し、参院選敗北の責任を取り退陣する意向を表明した。これを受けて、自由民主党（自民党）総裁選が22日に告示され、5人が立候補を届け出た。

自民党総裁選は10月4日に投開票され、前経済・安全保障担当大臣の高市早苗氏が第29代総裁に選出された。1955年（昭和30年）に結党した自民党において、女性の総裁は初のこととなる（なお、任期は、石破氏の残り任期である2027年9月までである）。

3 公明党の連立離脱、自民・維新による連立政権発足

10月10日、国会内で自民党の高市総裁と公明党の斉藤代表は両党による連立政権の継続を巡って会談を行った。しかし、公明党の側が求めている企業・団体献金の規制強化に自民党が応じなかったことから、斉藤氏は連立からの離脱を通告した。これにより、1999年（平成11年）から26年間続いた連立を含む自民・公明の協力関係は幕を下ろすこととなった。

公明党が連立政権から離脱したことにより、新たなパートナーを探すこととなった自民党は、10月20日、国会内で自民党の高市総裁と日本維新の会の吉村代表（大阪府知事）は会談を行い、連立政権樹立に受けた合意書に署名した。これにより、自民・維新による連立政権が誕生することとなった。

4 高市氏が女性初の首相に

2025 年（令和 7 年）10 月 21 日、自民党の高市総裁が第 104 代内閣総理大臣に指名され、皇居での首相親任式と閣僚認証式を経て、高市内閣が発足した。高市氏は、明治憲法以来の憲政史上初の女性首相となる。

■参考：国会・内閣・裁判所における女性活躍

三権	役職	氏名	任期
国会	衆議院議長	土井たか子	1993 年8月6日～1996年9月27日
	参議院議長	扇千景	2004 年7月30日～2007年7月28日
		山東昭子	2019 年8月1日～2022年8月3日
内閣総理大臣		高市早苗	2025 年10月21日～現在
裁判所	最高裁判所 長官	なし※1、2	

※1 最高裁判所長官に女性が就任したことはない

※2 2025 年（令和 7 年）12 月末現在、最高裁判所の裁判官には4名の女性裁判官が任命されている（岡村和美氏、渡邊恵理子氏、宮川美津子氏、沖野眞巳氏の4名）